

## 1. 平成 26 年度の活動について

昨年度は実質的に活動している団員が 15 名程度だったことから、あまり大きな活動ができないと判断し、例年開催していた前期のスプリングコンサートを中止した。しかし、団員獲得に取り組むべく、前期では吹奏楽 DAY というイベントを主催した。このイベントは団員以外にも広く参加者を募集し、1 日限りで 1~2 曲完成させて合奏をしようとするものである。これを開催することにより、芸術工学部の吹奏楽団という団体を認知させ、さらに興味を持ってもらうことに成功した。全部で 5 回開催をし、新入生はほとんどこのイベントを通して入団するに至った。

後期には新入生が入ったことで定期的な活動ができると判断し、8 月から吹奏楽団を本格的に再始動させ、週 2 回の練習（火・土）を行った。練習の際の目標であり、後期の最も大きいイベントでもあるのが定期演奏会である。平成 25 年度に人数の都合で開催を果たせなかった第 4 回定期演奏会を 1 年越しで実現させることができた。当団体はまだ歴史が浅く、この演奏会が創設者たちの最後の演奏会でもあった。そこで、吹奏楽界隈では有名な大曲や映画音楽、ソリストと共演する曲など彼らの集大成を感じさせるプログラムを立て、聴きに来てくださった方々も大変満足できるような演奏会にできた。

## 2. 九大基金による助成について

当団体は年度が変わり団員も 10 名程度に減ってしまったことで、団員を増やさないことには活動を続けることが困難になってしまうくらいに縮小していた。そこで、団員を増やす打開策の 1 つとして、楽団の保有楽器を手に入れることが上がり、九州大学基金助成事業に応募させていただいた。その結果、クラリネットとホルンを各 1 本ずつ購入することができた。これにより、楽器を演奏することはできるが楽器を保有していないため入団することができない人も興味を持ってもらえたら入団してもらうことも可能になった。

ここで助成していただいたことが功を奏し、本年度新入生は現時点で 12 名入団を果たした。自分の楽器を保有している者が多いのは変わらないが、楽器を保有していない者も入団し、助成していただいた楽器を使用して参加してもらっている。まだ大きな活動はしていないが、吹奏楽 DAY を今年も開催しておりここで団員はまだ増える可能性がある。助成事業により、当団体の規模がかつてないものになることが予想される。後期にはもちろん定期演奏会を開催する予定であり、団員だけでまかなえるパートも増えている。また、人数が増えたことで様々な外部イベントや他団体のイベントに参加しやすくなった。未知数ではあるが、助成事業により明らかに以前よりも活動の幅が広がると考えられる。



団員による合奏練習風景



支援助成により購入したホルンを使っでの練習